

ユースかわら版

広報誌に関する
「意見」「感想」は
「ユース」へ
お気軽に
お寄せください。



居場所づくりで『ぎょうぱー!』

北青少年活動センターでは、若者同士が安心して交流することができる居場所づくり支援事業『ぎょうぱー!』を行っています。月に4回ある活動の内、2回は料理！5月の活動は、3班に分かれて餃子を作ってパーティーをしました。略してぎょうぱー!。3班とも同じ分量

の同じ食材なのに、味や形が全く違い、どれも美味しかったです！餃子だけでなく、ハンバーグを作った班も?! 料理を作りながら話をし、みんなで作ったものをみんなで食べることで、少し距離が縮まったのではないのでしょうか。『ぎょうぱー!』では料理以外にも、仲間と同じ時間・空間にいる日々、仲間と活動内容を1から一緒に考えて活動する日などがあり、さまざまな形の居場所を作っています。



安心安全な場づくりの実現に向けて

伏見青少年活動センターは「多文化共生」をテーマに、さまざまなプログラムを展開しています。6月22日(土)には、「外国にレーツを持つ若者のための居場所事業」を初めて実施しました。

この事業では、親の両方またはいずれか片方が外国出身である若者を対象とし、遊び、勉強、相談ができる場を提供します。そこで参加者は、同じ背景を持つ仲間と出会い、共に学び合うことを通して、自身の生き方を選択できるようなことを目指しています。

7月5日(金)の第2回目は、ユースワーカーとともにパンケーキをつくって食べながら、お互いのレーツ、仕事、これからの生き方など語り合いました。

『まちロゲ』活動中!

『まちロゲ』とは、まちあるき×フォトの要素が混じった新感覚のスポーツ。地図とスマホを手に3~4人のチームで街に繰り出し、チェックポイントで写真を撮って得点をゲットし、「制限時間内に何点取れるか」と総得点を競う競技です。どのエリアを選ぶか、どのルートを通るか、どのポイントをめぐるか……チームで戦略を立て、アタマとカラダの両方を使うことが勝敗の分かれ目となります。

下京青少年活動センターでは、京都駅を中心としたエリアをフィールドに、ボランティアスタッフ自らが、「まちの魅力」を隠れスポット「ニーク」な活動をしている人などに出会い、楽しんでいきます。9月22日(日)にはイベントを開催予定。ぜひご参加ください。

『東山アートのスペース』活動報告冊子発行!

東山青少年活動センターでは、知的な障がいのある青少年を対象にした『東山アートのスペース』というアトリエ活動を行っています。「支援学校卒業後に余暇を過

ロビープログラム『アートに触れよう!』を開催しました

6月30日(日)に東山青少年活動センターのロビーで「アートに触れよう!」というプログラムを実施しました。藁を使って人形を作り、作った人形で即興の人形劇をみんなで考え発表しました。子ども



もから大人まで、多世代での交流ができました。プログラムにはアーティストの彦坂敏昭さん(京都造形芸術大学講師)をお招きし、藁をどのように使えば思い描く人形を作れるかサポートしていただきました。参加者の中には、藁に初めて触れる人もいて、「本当にお米が付いている!」と驚く姿もチラホラ。「藁人形」と聞くと怖い印象を持つ方もいるかもしれませんが、それぞれの個性が出てとても素敵な仕上がりになりました。今後もロビーで気軽に参加・交流ができるアート体験を企画中です。興味がある方はぜひお越しください!

10月6日(日)開催『ユースシンポジウム』

中学生学習支援事業が10年目を迎えました。京都市では全国的に子どもの貧困対策が制度化する前から、有志のケースワーカーや学生ボランティアらが取り組んできたという経緯があります。今回のシンポジウムではこれまでの事業展開や、学生が丁寧にかかわり続ける居場所機能としての場づくりなど、これまでと現在、そしてこれからのについて考える日として実施します。ぜひご参加ください。



東山青少年活動センター
(075-5410619)

時間 13時~17時半
場所 下京青少年活動センター
参加費 無料・要予約
問合せ 申し込み先
協会事務局
(075-2133368)



発行 公益財団法人 京都市ユースサービス協会
〒604-8147
京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262
TEL: 075-213-3681 FAX: 075-231-1231
E-mail: office@ys-kyoto.org
HP: http://www.ys-kyoto.org
印刷: 株式会社谷印刷所 デザイン: 株式会社オム